

有限会社夜久野育種農場

1粒の種子が世界を制す！

当社はカボチャを中心に、野菜の品種改良（育種）を行う会社です。

より良い種子を農家へ、より良い野菜（品種）を食卓へお届けすることで、皆様のお役に立つことが当社の使命です！

1つの品種を完成させるのに必要な期間はおよそ10年、野菜のトレンドや動向を見逃さないようにTV、新聞、SNSなど情報収集しながら、品種改良に活かしています。

品種改良



種子の選別作業、根気の必要な作業です。

← カボチャ調査

毎年100種類（品種）ほどのカボチャを栽培し、葉の大きさ、色、味、収穫量など20項目以上の調査データから、産地ごとの目的に合った品種を提案していきます。

種苗生産



タマネギ苗生産 ↑
春の野菜苗生産では、60,000本以上を生産、販売します。 ↓



採種

← カボチャ採種

形の違うものや、変異のあるものが混入していないか確認し、収穫から2〜3週間追熟させてから玉を割って種子をかき出します。残念ながら、食べられる部分は廃棄となります。このように自社で採種する場合もあれば、農家や農業法人に採種を委託することもあります。さらに種子がたくさん必要なものは、海外（主にインドや中国、タイやペルーでも）で採種します。



青果物出荷

主に直売所へのお荷です。ネギ、ダイコン、キャベツ、ニンジンなどいろんな野菜を出荷します。B品や余った野菜は持ち帰れます♪



会社からのメッセージ

みなさんが食べている野菜も今とは違う姿をしていたものがたくさんあります。それは、育種という仕事を通じてより作りやすい品種、おいしい品種を追求してきた証でもあります。数百年前から始まった育種に1人のブリーダーが関われるのはわずか30〜40年、これから生まれる新しい品種が10年後、30年後に当たり前のように食べられるようになっているかもしれません。しかし、開発者の名前が世に出ることはほとんどありません。なぜなら、開発者自身が、これまで先人が繋いできた成果を引き継いできた1人であり、自分1人で作り上げたものではないからです。それではやりがいがないじゃないかと言われてしまいそうですが、世に自分の名前が出なくても、大谷選手のようにTVに取り上げてもらえなくても、農家のやりがいの源だったり、おいしい食事で明日も頑張ろうと思ってもらえたり、数えきれないたくさんの人を喜ばせることができているのです。

育種とは、食料という人類の根幹にかかわる大切な仕事でもあり、未来の農業に貢献し、未来の食卓を彩る素晴らしい仕事だと自負しています。一朝一夕でできる仕事ではありません。だからこそ粘り強く野菜と向き合える新しい力が必要です。当社では、ともに挑戦し、目標を達成する喜びを感じ、成長していける仲間を待っています。

メロンの定植作業



メロン採種、試食できます★

